

JBA 総発第 26073 号

2014 年 11 月 26 日

バスケットボールに関わる皆様
(ステークホルダーの皆様)

公益財団法人日本バスケットボール協会

【重要】FIBA からの制裁に関する通知について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より当協会(JBA)の活動に対して格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、この度は国際バスケットボール連盟(FIBA)からの JBA に対する指摘につきまして、皆様方に多大なご心配とご迷惑をおかけしており、深くお詫び申し上げます。

さて、FIBA に対して JBA が提出した回答書に対し、11 月 26 日(水)、FIBA より制裁に関する通知が届きました。その内容とともに、現地にて FIBA が出したプレスリリース(要旨)について、以下にご報告いたします。

JBA といたしましては、今回の FIBA の決定を真摯に受け止め、FIBA と協働しながら JBA 改革および制裁解除に向けた取り組みを実行してまいります。

皆様におかれましては、今後とも引き続き当協会へのご理解とご支援を賜りますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

——記——

通知内容 ①FIBA からの JBA に対する制裁について(資格停止処分の通達)

*資格停止……FIBA 加盟国協会としての権利を喪失し、FIBA および FIBA Asia の
行事(スポーツまたはその他)への参加禁止

②FIBA 執行委員会にて、日本 2024 バスケットボールタスクフォース(仮称)の設立に向け、FIBA 代表者を日本に派遣することが決定された。

【FIBA プレスリリース(要旨)】

日本バスケットボール協会資格停止について スイス・ミース発

FIBAは、Executive Committee Meeting(執行委員会)の結果に伴い、日本バスケットボール協会(JBA)の資格停止処分を発表致しました。

資格停止処分により、FIBA 定款に従い、JBAはFIBAの加盟国協会としての権利を喪失し、FIBAおよびFIBA Asiaの行事(スポーツまたはその他)に一切参加することが出来なくなることとなります。

JBAがこの困難な時期を乗り越え、必要な改革を実行するためのタスクフォース設立に向け、FIBA代表者を日本に派遣することを決定致しました。

●FIBA 事務総長および IOC メンバーのパトリック・ボウマン氏のコメント

「後戻りができない状況に達してしまったことは残念ですが、今後の日本のバスケットボールのため、また2020年オリンピックが日本のバスケットボールに与える機会を活用できるようするためにも、JBAの組織および国内競技大会がFIBA定款に完全に準拠するために重要な変化をもたらす絶对的な時期であると確信しています。

バスケットボールは日本において主要スポーツとなる大きな潜在性を持っていると信じています。我々は日本男女代表チームが参加して、2020年東京オリンピックのバスケットボールトーナメントが成功することを願っています。

バスケットボールを愛するすべての人のために、未来に向けた強いビジョンをもって準備を進める時です。我々はタスクフォースがリードする、重要な改革過程にすべてのバスケットボールのステークホルダーが関わってくださることを期待しています」

以上